



合同機工 挑戦の歴史

50 **>>>>>>**
th

ANNIVERSARY
1973-2023

合同機工株式会社
50周年記念



MESSAGE

お客様から必要とされる会社

社員が働きたいと思える会社を目指して

2023年で、弊社は創業から50年の節目を迎えることができました。これもひとえにお取引先、社員の皆様あってのことと、ただただ深く感謝いたしております。

弊社は私の父が50年前の1973年に碧南市宮町で創業しました。私が物心つく頃には、母親に連れられ、よく工場に出入りし、当時は母や祖父母を含めた家族はもちろん、叔父、叔母、親戚が働く、いわゆる家族経営の町工場でした。

この度、創業50年の節目を迎えるにあたり、改めて会社の存在意義を考えたとき、世の中から必要とされる会社になる、つまり、お客様から必要とされる会社、そして社員が働きたいと思える会社を目指し、また、昔の家族経営の時のように、社員が家族のような強い絆で結ばれ、一致団結して何事にも取り組んでいけるような会社になれるよう努めてまいります。今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役

平松 浩文



「継続は力なり」

を実感しています。

わが平松家は、大浜港を母港とする3代続く漁師でありました。本来ならば、我々兄弟も漁師になるはずでありましたが、昭和30年代後半に衣浦臨海工業地の造成が始まり、漁師の先行きを懸念する状況となったため、工業高校へ進学し近隣の製造会社へ就職しました。その後、昭和48年(1973年)色々な人たちのお世話になり、弟の利治(専務)と合同機工を創業しました。当時、利治(専務)が勤務していた富士機械製造株式会社(現 株式会社FUJI)の上司の方々が、仕事を発注してくださり、技術的な指導もしてくださったことが、今日までの発展の一助となり、感謝しております。

オイルショック、ITバブル崩壊、リーマンショックと苦難な時もありましたが、多くの方々に助言などをいただきながら50周年を迎えることができ、「継続は力なり」を実感しています。

会長

平松 伸章



合同機工 沿革 1973 - 2023



会社の前身である漁師時代 第一合同丸 進水式
昭和47年2月20日



創業時、宮町本社工場へ
導入したワシノ機械



宮町工場内の貴重な写真

1973
(S48)

1月 愛知県碧南市宮町にて創業
工作機械の部品加工を行う

1980
(S55)

1月 合同機工株式会社を設立
電子部品実装機の部品加工を開始

1990
(H2)

8月 本社・工場(碧南市春日町)完成、移転

1996
(H8)

3月 自動車試作加工開始

2000
(H12)

代表取締役社長に平松伸章が就任
平松浩が代表取締役社長を退任

2001
(H13)

10月 工場増設

2019
(R1)

9月 新本社・工場(碧南市六軒町)完成、移転

2019
(R1)

代表取締役社長に平松浩文が就任
平松伸章が代表取締役社長を退任



1990年 本社工場を
春日町へ移転し、工場拡大



春日町新社屋竣工式
平成2年9月22日
写真は当時社長の平松浩



平松伸章の若き日の1枚
(春日町工場)



2019年六軒町に新本社・工場完成
現在では5軸制御立形マシニングセンタや複合NC旋盤など
お客様のニーズに応えられる設備を整えております

>> Company name origin

社名の 由来

平松伸章の父、浩の持船の船名が「第一合同丸」であった所以、またお互い力を合わせて頑張るようにとの願いからです。

こぼれ話

「合同丸」という船名の由来は、平松浩から聞いたところによりますと、太平洋戦争中の統制経済の下、10軒ほどの漁師が集まり「打瀬(うたせ)合同」として細々と漁を続け、戦後、解散した際、浩の父只一がその世話役をしていたため、合同の名を貰い浩の持船を「第一合同丸」としたようです。それ以前は、「岩徳丸」、「天満丸」だったと聞いております。



50年先も、 必要とされる 企業でいられるか？



今回の新型コロナウイルス蔓延や、他にも自然災害、世界での紛争など、様々なことが世の中で起こっています。産業界も環境対応や技術革新、働き方改革など、大きな変革期にあります。

そのような中、将来、こうなるからこうすれば良いという答えは無く、その時々で、どうすればお客様から必要とされるのか、社員から必要とされるのか、世の中から必要とされるのかを常に考え、そして勇気をもって行動していくしかないと思います。



合同機工株式会社